

RemORI MONTHLY /

2024年5 & 6月号
りもり vol.21
IN ゆすはら

林業情報を発信！
りもりマンスリー

雨ニモマケズ 栲原令和の森林づくり

毎年恒例4月29日協働の森づくり！
笹岡 高志 | p.02

KIRecub TV出演！

おはようこうちさんしんGO！にて栲原町の森林づくりが特集されました！
長谷川 夏輝 | p.03

祝！川上木材（田野々）法人化！

親子で伐採搬出を担ってきた川上木材が法人化！
笹岡 高志 | p.04

P.02



P.03



P.04



栲原町森林再生プロジェクト
「りもりチャンネル」

りもりの活動やイベント風景、協力隊のPR動画などを配信中！



KIRecub-きりかぶ-チャンネル

新たに立ち上げました！活動風景やイベントの様子などを配信予定！



03 Instagram

ゆすはら地域おこし協力隊

りもりメンバーが林業を通して栲原町の魅力を発信中！



下村智也



山口佑貴



長谷川夏輝



荒木俊充



吉井香在



Coming Soon

KIRecub-きりかぶ-

造林事業をメインに立ち上げた組織「KIRecub（きりかぶ）有限責任事業組合」です。林業がもっと面白く活気のある産業になるように様々な事業も展開していきます。



ゆすはら森のおさんぽ会

栲原の豊かな自然を活かした、自主保育型「森のようちえん」活動。協力隊の荒木俊充が妻とともに、4歳と2歳の子もたちを連れ、町内各地で活動中。参加者随時募集中！0歳からどなたでも参加していただけます。一緒に自然を満喫しませんか？



WOODNEIGHBORS-ウッドネイバーズ-

協力隊を卒業した角金玄が個人事業主として開業。ロープクライミングで樹上へアクセスし住宅や公共施設、神社仏閣などの樹木の伐採(剪定)を事業としています。



Coming Soon

Coming Soon



雨ニモマケズ 梶原令和の森林づくり

今年も降られましたが、総勢142人で賑やかに若葉のイベントを終えました。

高知県を仲立ちに環境先進企業が各自治体と協定を結んで、県内の森林整備に協力しています。梶原町は5社（団体含む）と締結しており、また企業と町の2者で協定を結んでいる企業が3社あります。そのような環境先進企業や独自に森林整備に協力している企業が一堂に集う場が、毎年4月29日の協働の森づくり事業“梶原令和の森林づくり”です（前身は“森林ボランティア”として、間伐などを行っていました）。

ところが、令和3年度より「広葉樹の植樹」を始めて以来、残念ながら雨続き。開会式で梶原森林づくり会議の土釜会長は毎年「植樹には雨がいい・・・」と、恐縮しつつ歓迎の挨拶をしてきました。

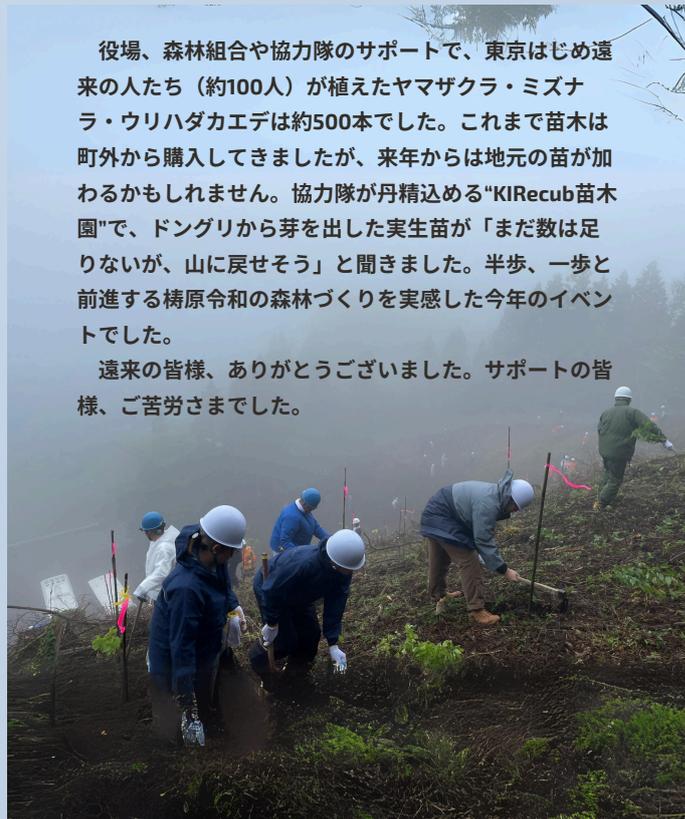
4年目の今年も雨でしたが、参加者の顔は明るかったと（私は）感じました。

植林地は愛媛県と境を接する四万川区井高の町有林。スギの皆伐地が地拵えされていました。「今年は傾斜が緩くて楽よ」と聞いてはいましたが、丁寧に整地された斜面に驚きました。植林実践を始めた矢崎総業グループの四国部品・岡さんと河添さんが二人で仕上げたそうです。「丸2年の技術向上」を現場で確認でき、大いに頼もしく感じました。



役場、森林組合や協力隊のサポートで、東京はじめ遠来の人たち（約100人）が植えたヤマザクラ・ミズナラ・ウリハダカエデは約500本でした。これまで苗木は町外から購入してきましたが、来年からは地元の苗が加わるかもしれません。協力隊が丹精込める“KIRecub苗木園”で、ドングリから芽を出した実生苗が「まだ数は足りないが、山に戻せそう」と聞きました。半歩、一歩と前進する梶原令和の森林づくりを実感した今年のイベントでした。

遠来の皆様、ありがとうございました。サポートの皆様、ご苦労さまでした。



今回のREPORTER・リポーター



梶原令和の森林づくり協議会「ReMORI」会長
笹岡 高志 -Takashi Sasaoka-

高知市生まれの73歳。高知放送を退職後、週2回のペースで、梶原町を往復。8年が経過。梶原町産業担い手育成塾長（森林づくり）を経て、梶原令和の森林づくり協議会長。子ども3人、孫6人。拙宅は時々、孫たちで大賑わい。本日は静かです。



「さんしんGO！」 KIRecub TV出演！

高知放送「おはようこうち」日曜日の隔週コーナー「さんしんGO！」にて、梶原町の森林づくりが取り上げられました。※5/19(日)放送分

こちらは高知県内の地域アクションプランに関する取り組みを紹介するコーナーとなり、今回はKIRecub-きりかぶ-がメインに取り上げられ、令和6年度より新設された"森林づくり脱炭素推進課"の上田課長と共に梶原町やKIRecubの活動をお伝えしました。

KIRecubでは広葉樹の植栽と共に、広葉樹の苗木生産、森林体験ツアー、木工雑貨やアロマオイルの開発・販売にも力を入れています。

これからも更なる躍進を目指して活動していきますので、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。



KIRecubの木工雑貨 & アロマオイル



KIRecub苗木園にて広葉樹苗木の鉢上げ



レーザーカッターによる木工雑貨の製作

もっとFEATURE-フィーチャー-



ゆすはら地域おこし協力隊/KIRecub代表 下村 智也 -Tomoya Shimomura-

高知県高知市出身の地域おこし協力隊3年目。両親の出身が梶原町ということもあり、家族3人で広島から移住してきました。協力隊で技術を学ぶ傍ら『KIRecub-きりかぶ-』を立ち上げ、造林・精油・森林イベントなど様々な事業に取り組んでいます。

今回のREPORTER-リポーター-



ゆすはら地域おこし協力隊/KIRecub副代表 長谷川 夏輝 -Natsuki Hasegawa-

神奈川県出身の地域おこし協力隊。今年で3年目に突入。林業研修の他に、森林イベントの運営や木工などにも力を入れ始めました。協力隊同士で立ち上げた組織「KIRecub-きりかぶ-」では、休みの日を活用して造林の仕事を請け負っています！

祝！ 川上木材（田野々）が法人化！



協力隊の研修受け入れ先としてもお世話になっています



梶原町の森林体験ツアーの受け入れも！

大安の5月27日、親子で伐採搬出を担ってきた川上木材が「法人登録」を行いました。名称は「株式会社川上木材」に、代表取締役は息子の政志さんです。30日に開いたリモリ役員会で、私（笹岡）から法人化を各位に伝えました。メンバーから祝福された父・周一氏（副会長）は「私が知らんうちに息子がやりました。今後ともよろしく願います」と頬を赤らめていました。町内の同業種では、西村木材（2019年設立）に次ぐ株式会社の誕生です。

政志社長から経過を以下のように聞きました。
「父から事業を継いで3年。この間、青色申告を3度経験しました。パソコンでの帳簿のつけ方など初めてのことで須崎の税務署にも行きましたし、節税についても知らないことばかりで苦労しました。少しずつ勉強し、町の商工会を通じて知り合えた税理士さんから強く勧められ決めました。やっと慣れてきたところでの法人化でまた大変ですが、今後の担い手採用にも役立つと思います」

私は政志君が担い手育成塾生（一期生）の頃から「将来は是非とも法人化を」と勧めてきました。きっと税理士さんから「一定の売り上げがある場合、法人化し各種の優遇制度を活用する方が有利」と説得されたのでしょう。人口減の中山間は個人事業者が多く、これが若者雇用の大きな壁になってきました。悩ましい事態です。よく決断してくれました。大変でしょうが、政志社長には安全施業に加えて、経理面の力もつけて貰わねばなりません。更に、もう一つお願いがあります。フォレストリーダー（現場管理責任者）の資格を取ってほしい！

担い手不足の林業界に若手の参入を促す“緑の雇用”制度があります。県の認定を受けた事業体であり、フォレストリーダー等の資格を有する指導員が実地研修できる環境であれば、新規雇用者（フォレストワーカー）の賃金と事業体側の指導に対して補助金がもらえます。（株）川上木材の場合、周一氏が第一線で活躍していますが、引退の時期も近づいています。次の雇用に備えて、早めに香美市の労働力確保支援センターに通って欲しいと思います。

何はともあれ、法人化おめでとうございました。一層の努力と飛躍を期待しています。

もっとFEATURE-フィーチャー-



株式会社川上木材 代表取締役
川上 政志 -Masashi Kawakami-

昭和60年創業(当時7歳)の二代目。
令和3年に代表を引き継ぎ、今年法人化しました。
が、相変わらず親子2人で頑張ってます！

今回のREPORTER-リポーター-



梶原令和の森林づくり協議会「ReMORI」会長
笹岡 高志 -Takashi Sasaoka-

高知市生まれの73歳。高知放送を退職後、週2回のペースで、梶原町を往復。8年が経過。梶原町産業担い手育成塾長（森林づくり）を経て、梶原令和の森林づくり協議会長。子ども3人、孫6人。拙宅は時々、孫たちで大賑わい。本日は静かです。